

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名 一般国道4号 <small>しづたみ</small> 渋民バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 東北地方整備局										
起終点 自：岩手県岩手郡玉山村渋民字大前田 至：岩手県岩手郡玉山村馬場字川原	延長 5.6 km											
事業概要 渋民バイパスは、玉山村内における国道4号の交通混雑の解消や交通安全の確保、路肩狭小幅員区間の回避等を目的とした5.6 kmの4車線道路である。												
S61年度事業化 H3年度都市計画決定 H2年度用地着手 H8年度工事着手												
全体事業費 130億円 事業進捗率 46% 供用済延長 2.5 km												
計画交通量 21,200台/日												
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 2.7 (残事業) 4.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 66/146億円 (事業費：46/127億円) (維持管理費：20/20億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 327/395億円 (走行時間短縮便益：324/389億円) (走行費用減少便益：0/4億円) (交通事故減少便益：4/2億円)										
基準年 平成17年												
感度分析の結果 事業全体・残事業について感度分析を実施 【事業全体】交通量変動：B/C=3.0(交通量+10%) B/C=2.4(交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.5(事業費+10%) B/C=2.9(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=2.1(事業期間+20%) B/C=3.4(事業期間-20%)												
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の改善が期待される） ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） 他14項目に該当												
関係する地方公共団体等の意見 渋民バイパスは、玉山村内における国道4号の交通混雑の解消や交通安全の確保、路肩幅員の狭小区間の回避、主要観光地へのアクセス向上等に重要な役割を果たすことが期待されており、玉山村より、早期整備の要望を受けている。												
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。												
事業の進捗状況、残事業の内容等 【執行済み額】事業費：60億円（進捗率 46%） うち用地費：18億円（進捗率 90%）												
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 事業進捗に係わる問題はなく、L=3.1 km区間について、平成20年代の全線暫定2車線供用を目標に事業推進を図る。												
施設の構造や工法の変更等 2車線施工に際し、初期投資を抑えるべく、函渠等構造物の2車線施工を図る。												
対応方針 事業継続												
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。												
事業概要図												
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>凡</th> <th>例</th> </tr> <tr> <td>■</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>	凡	例	■	供用中	■	事業中	■	再評価箇所	■	うち供用中	
凡	例											
■	供用中											
■	事業中											
■	再評価箇所											
■	うち供用中											

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。